



校長だより

～なかまとともにのびよう～



天美小学校 HP

令和5年夏休み号

校長 高橋 義浩

1学期を振り返って

4月7日(金)の「令和5年度入学式」から始まった1学期。5月に新型コロナウイルス感染症がⅡ類からⅤ類へと引き下げられ、コロナ禍以前の活動ができ

4月



入学式



始業式



対面式



1年生初めての給食



全国学力テスト



授業参観

5月(遠足)



1年生
「松原中央公園」



2年生
「二土山ふるさと公園」



3年生
「キンスプラザ」



4年生
「大阪市立科学館」



5年生
「天王寺動物園」



6年生
「大阪城公園・大阪城」

るようにもなった1学期でした。振り返ってみると、あっという間に過ぎたような気がしますが、たくさんの行事や活動に取り組んだ1学期でした。1年生の子どもたちも学校に慣れ、お友だちとも仲良くなれました。

明日からは、長い長い夏休みが始まります。規則正

しい生活を送り、健康で安全な夏休みを過ごしてほしいと思います。

2学期の始業式(8月28日)には、子どもたちの素敵な笑顔をたくさん見たいと思っています。



6月・7月



「日曜参観」



「引き渡し訓練」



「朝遊び週間」



「あいさつ運動」



「非行防止教室」



「ユニセフ募金」

この夏休み改めてスマホやSNSなどの 使い方について考えてみては？

●いじめや仲間はずれ

子どものSNS利用でもっとも身近な問題が、SNSを使ったいじめや仲間はずれ。なかでも、特定の友人をグループトークから外したり、無視したり、本人にとっては不本意な写真や動画を共有したりといった嫌がらせが目立っているようです。グループのメンバー以外は読むことができないため、大人の目に触れにくく発見が遅れがちに。

●悪ふざけなどの不適切な投稿

また、未成年による悪ふざけなどの不適切な投稿もたびたび問題になっています。不適切な投稿というのは、たとえば「ホームで線路に下りる」ような公序良俗に反する行動を撮影した写真等のアップ。ホームで線路に降りること自体があってはならない問題ですが、それを撮影して不特定多数の目に入るSNSにアップすることで、大炎上を呼び、問題がどんどん肥大化……あっという間に、親や学校では処理しきれないほどのおおごとになってしまう、なんてパターンはもはや珍しくありません。

●個人が特定されたことから起こった被害

SNSにアップした写真や情報から個人を特定されてしまい、思わぬ事件やトラブルに巻き込まれてしまったという事例も多くあります。最近の写真は指紋さえ分かるほど高画質で、SNSに何気なく投稿された写真からも、その場所や人に様々なヒントを得ることができます。ネット上のプライベートな情報や写真の扱い方には慎重になるよう伝えていく必要があります。

【参考】総務省：インターネットトラブル事例集 (https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/)

●家庭内のルールを作っておく

SNSを利用する場合は、家庭内でのルールを事前に作っておくようにしましょう。たとえば、アカウントの非公開設定や、知らない人と会う約束はしないこと、プライベートなことは書かないこと等々、やっていいこと・いけないことを詳細に決めておきます。何か問題や困ったこと、悩んでいることがあった場合は、すぐにSNS上ではない身近な大人に相談することも約束しておきましょう。

●フィルタリング機能を活用する

サイトの閲覧制限ができるフィルタリング機能。アダルトサイトやドラッグに関するサイトなど、有害であったり、危険度の高いサイトが子どもの目に触れないようにすることができるので、子どものうちは設定しておいたほうがベター。有料アプリや課金対象となるサイトもフィルタリング可能なので、SNSから危険なサイトへジャンプすることを防げます。

●SNS上でのルールやモラルを共有する

SNSは、不適切な投稿をしないことと同時に、肖像権や著作権にも考慮しながら使用していく必要があります。著作物や、友人の写真・動画を許可なく掲載してはならないことも説明しましょう。